

行きたい学校、帰りたい家庭、住みたい船越

あいさつ 100%の推進

学校だより 平成 23 年 11 月

<http://www.funakoshi-e.edu.city.hiroshima.jp/>

広島市立船越小学校

11/7～11/11 は“学校へ行こう”週間

11/7～11/11 は“学校へ行こう”週間です。“学校へ行こう”週間は、「ひろしま教育の日」の関連事業として、全県的に学校開放を実施することによって、開かれた学校づくりを一層推進するとともに、保護者や地域の皆様の学校教育に対する理解と関心を深め、子どもたちを県民全体で育てていく取組の充実に資するというものです。

この期間中に、特に大きな行事が計画されているわけではありませんが、子どもたちの日常的な学校生活をお気軽にご参観いただければと思います。



11月22日

平成17年11月22日の矢野西小学校女子児童殺害事件から6年が過ぎようとしています。この事件をきっかけに、広島市内の各学校においては、子どもたちの登下校におけるの安全確保のために、保護者の皆様・地域の皆様と連携しながらいろいろな対策がとられてきました。

毎月22日は「子ども安全の日」として、登下校の安全を再確認する日となっていますが、11月においては、特にその意識を高める取り組みが行われます。本校では、11月22日(火)の6校時をカットして、全児童による集会と集団下校を行います。集会においては、6年前の事件を振り返るとともに、安全確保への決意を新たにします。また、日ごろから子どもたちの安全を見守ってくださっている“見守り隊”の皆様にもお集まりいただき、子どもたちの感謝の気持ちをお伝えできればと考えています。

当日の集会および集団下校におきましては、保護者の皆様、地域の皆様も可能な範囲でご参加・ご協力くださいますようお願いいたします。

基礎・基本定着状況調査の結果

6月14日(火)に、「基礎・基本定着状況調査」が行われました。「基礎・基本定着状況調査」は、小学校5年生(中学校は2年生)を対象に毎年実施されるもので、国語と算数に関して“読み・書き・計算”などの基礎的・基本的な知識・技能の定着状況とともに、思考力・表現力などの状況を把握することを目的としています。また、児童の生活や学習に関する意識や実態なども把握し、本校の課題を明確にするとともに、指導内容・方法の改善・充実を図ります。

5年生保護者の皆様には、詳細な調査結果と今後の取り組みについてお知らせいたしますが、この『学校だより』におきましては、その概要をお知らせいたします。国語と算数の調査結果は、次のとおりです。

国	県平均	市平均	船越小
語	78.5	77.3	75.1

算	県平均	市平均	船越小
数	77.8	76.2	74.3

国語の領域は、「聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」に分かれています。「聞くこと」に関しては県平均・市平均とあまり変わりありませんが、「書くこと」「読むこと」に関しては、4～5ポイントの差が見られます。また、「言語事項」に関しては、漢字の読み・書きはまずまずですが、ローマ字の読み・書きが県平均・市平均をかなり下回っています。

算数の領域は、「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」に分かれています。この中で最も気になるのは「量と測定」であり、県平均・市平均を8～10ポイント下回っています。一方、「数量関係」は86.2で、県平均86.0・市平均85.4をわずかながら上回っています。

生活や学習に関する調査においては、生活習慣や学習習慣など、いろいろな項目が調査対象になっていますが、県平均・市平均と比べて、次の項目に関して比較的大きな隔たりが見られます。

- ・ 「ふだん(月曜日～金曜日)、1日何時間くらいテレビを見たりゲームをしたりしていますか。」について、「4時間以上」と回答した児童は22.0%でした。(県平均12.7%、市平均14.1%)
- ・ 「学校の授業の予習をするようにしています。」について、「あてはまる」と回答した児童は29.3%でした。(県平均51.0%、市平均55.6%)
- ・ 「学校の授業の復習をするようにしています。」について、「あてはまる」と回答した児童は39.0%でした。(県平均60.4%、市平均68.3%)